

平成31年3月1日号掲載 市報ひがしまつしま

トッランナーがSDGsを語る！



持続可能なまちづくりへ

インタビュー全文 最終回 阿部 勝徳 東松島市 議会議長

問. SDGsでは持続可能なまちづくりが求められていますが、「持続可能な社会、まち」を創造していくために必要なことは何だと考えますか。

答. これまでの社会は高度経済成長で、消費は美德と言われ買っては捨てるの大量消費の時代でした。しかし世の中の意識が変わってきて、リサイクル、リデュース、リユースなどが重要とされてきています。つまりモノを大切に使用していかないといけない時代に突入したと言えますし、私もそうすべきだと感じています。少し高くても良いものを大切に長く使う、次の世代にも使ってもらえるような世の中、つまりは生活の質そのものを高める、そういうことが持続可能な社会に繋がるのではないかと思います。

色々な努力はしていますが、おそらく人口減少社会自体は避けることができないでしょう。人口が減少するということは、経済成長も必然と下がっていきます。その限られた中で、地域の活性化をやっていかなければなりません、生活の質を高めることがその活路になると思います。

問. 東松島市がSDGs未来都市に選定されたことの意義やそれに伴う可能性、また今後どのような取組をしていくべきだと感じますか。

答. 被災地で唯一選ばれたことは素晴らしいと思います。これまでの、復興事業や環境未来都市事業など本市の創造的復興が評価されたとも言えます。同時に今度は復興後どのようにしていくかを考えなければいけません。

私は20数年前のことですがデンマークへ訪問したことがあるのですが、その時とても感銘を受けたことがあります。子どもも若者も高齢者も障がいを持った方も、皆さん生き生きと暮らしており、とても大切にされている、平等に暮らしていける国だと感じましたし、宿泊先の民家では、とてもあたたかく迎え入れてくれて、質素ではあるのですが気持ちの面で大変な「おもてなし」を感じました。

デンマーク王国の様な姿に近づけるよう、市民協働のまちづくりの理念を基本に、より地域で支えあう体制づくりをしていかなければいけないと思います。

問. 東松島市SDGs未来都市計画では、子ども若者、高齢者の人材育成をテーマにしています。それぞれの世代に対するメッセージをお願いします。

答. 全世代に共通して言えることは「夢を持ってほしい」ということです。子どもはもちろん、若い世代の皆さんには、何事にもチャレンジする姿勢を大切にしてほしいです。高齢者の皆さんも、健康・長寿を目指して、軽運動に励むなど、快活な生活を送って欲しいです。

